

# 待ちの行政でなく出向いて

## 弥彦村辞令交付式 新採用含む45人に辞令

### 村全体の奉仕者として

### 新採用職員自己紹介し頑張り誓う

弥彦村は一日午前八時半から役場大ホールで平成三十一年度辞令交付式を行い、延べ四十五人に辞令を手渡しして新年度をスタートした。年度初めの訓示で、小林豊彦村長は「ことしの目標は『待ちの行政』でなく、私たち一人ひとりが村民の方に向いて村民と一緒に村をよくする行政をめざしたい」として職員への協力を呼びかけた。

新年度の異動は一般行門五人、保育園関係四人、政部門三十四人、保育園の計九人。関係八人、燕・弥彦総合課長級では、定年退職事務組合への出向が三した山岸喜一総務課長が、七課長が交代した。新採用は一般行政部新設した非常勤特別職の



訓示を行う小林村長

職員を中心に約六十人村議会議長から一人ひとりが出席。全員で村民歌を斉唱したあと、小林村長、新採用職員九人を代表する林順一教育長、武石雅之として、総務課主事の小川



新採用職員を代表して宣誓文を読む小川さん

佳紀さん(三)が「村民全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行することを誓います」と宣誓文を朗読。新採用職員が一人ひとり自己紹介し、「地域のために一生懸命頑張ります」「一日も早く仕事を覚えて力になれるように頑張ります」弥彦の子どもたちのために精いっぱい仕事をしてい



辞令を受ける山岸政策統括官

きた。など抱負を述べた。年度初めの訓示では、小林村長は「きょうから四十一年近い、長い弥彦村職員としての生活が始ま



辞令を受ける志田総務課長

る。一日も早く村民から愛され、信頼される職員になってください。毎年申し上げているが、宣誓めざしたい。机に座って村民からの苦情、国、県からの通達、指示を待つ



のではなく、自分たちでこの弥彦村がどうあったら村全体のためになるか考えて実行する職員にいたい」と二層の奮起を

ついでに「役場になつてもらうという苦情があったことを紹介して、改めて丁寧な対応を呼びかけ、最後は「ことしも元号が変わるし、いろいろな行事がある。忙しい年となると思うが、健康に気を付けて頑張りていただきたい」と述べた。

村民への対応では最近、村からの手紙の文言について苦情があったことを紹介して、改めて丁寧な対応を呼びかけ、最後は「ことしも元号が変わるし、いろいろな行事がある。忙しい年となると思うが、健康に気を付けて頑張りていただきたい」と述べた。

辞令交付式は九時十分ごろ終わり、引き続き課長会議を開いた。

三十一年度の職員数は八十八人。三十年度に比べて四人減、燕・弥彦総合事務組合への出向者を含めると一人減となる。